

# 登記法対策編パック

登記法を知る（初対面ストレスを一気に減らす）

## ステップ1

### 書式基礎講義

#### 講座仕様

**回数** 全6回（全18時間）  
 ・不動産登記 4回 12時間  
 ・商業登記 2回 6時間

**科目** 不動産登記 商業登記

**講師** 司法書士 井上 元先生

**構成** 講義 3時間

**教材** 講師作成レジュメ  
 電車で書式  
 ・1 不動産登記 ・2 商業登記  
 ・3 不動産登記～その2  
 各自でご用意ください。  
 定価 各1,365円（税込）

#### CHAPTER 1 司法書士試験特有の科目「登記法」にまず触れる

登記法2科目を押さえることができれば、司法書士試験の主要な部分は押さえたこととなります。

なぜなら、登記法は、択一式では70問中24問（72点）出題され、書式（記述式）でも2問（70点満点）出題される主要科目だからです（全科目合計280点満点のうち50.7%に相当）。

これまで見たことのない登記法を先に押さえることにより、後の学習がかなり楽になります。

#### 登記法アレルギー（初対面ストレス）を克服

本講義は、社会人を中心に大好評の「電車で書式」をレジュメ化したものを教材に、登記法全体を広く理解していただくことを目的といたします。

実体法にある程度の理解があることを前提に、可能な限り細かい点にも触れますが、まずは全体を理解し、司法書士試験の勉強の基礎を身につけていただきたいと思います。

択一プロパーの論点を攻略

## ステップ1

### 不登法択一攻略講座

#### 講座仕様

**回数** 全7回（全21時間）  
 不動産登記法  
 ・講義回 4回 12時間  
 ・演習回 3回 9時間

**科目** 不動産登記法

**講師** 司法書士 井上 元先生

**構成** 講義回  
 講義 3時間  
 演習回  
 演習 2時間 解説 1時間

**教材** レジュメ

#### CHAPTER 2 書式基礎講義で得た知識に択一用知識を補う

書式基礎講義を通して登記法2科目を学んだ後は、択一用の知識を補っていきます。不動産登記法は覚えるべき知識が多い割りに、実体法を学ぶ場合と同様の面白さがありません。

そこで、短期合格を果たした井上講師が、覚えるべきポイントをズバリ指摘するとともに、無味乾燥な暗記ではなく、理由を伴った合理的な覚え方を伝授いたします。

また、初学者が勘違いしやすい点も指摘し、回り道を防ぎます。

#### 不登法の学習イメージ

書式の型・パターンを身につける

択一用の知識を暗記していく

択一プロパーの論点を攻略

## ステップ1

### 会社法・商登法択一攻略講座

#### 講座仕様

**回数** 全7回（全21時間）  
 ・講義回 4回 12時間  
 ・演習回 3回 9時間

**科目** 会社法・商業登記法

**講師** 司法書士 井上 元先生

**構成** 講義回  
 講義 3時間  
 演習回  
 演習 2時間 解説 1時間

**教材** レジュメ

#### CHAPTER 3 書式基礎講義で得た知識に択一用知識を補う

商業登記法の学習においては、会社法の知識が前提となります。商登法で問われるものの半分は会社実体法を問うていると言っても過言ではありません。

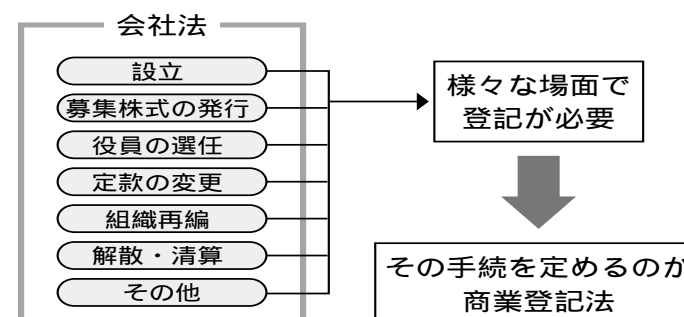
そこで、本講座では、会社法と商登法をセットで学習します。そうすることにより、効率的に勉強を進めることができるのです。

とはいえ、商登法は実務上の観点、会社法は理論的な観点の理解が重要です。また、商登法においては、添付書面や税率などを場面に応じて覚えていかなければなりません。

そこで、短期合格を果たした井上講師が、覚えるべきポイントをズバリ指摘するとともに、無味乾燥な暗記ではなく、理由を伴った合理的な覚え方を伝授いたします。

また、初学者が勘違いしやすい点も指摘し、回り道を防ぎます。

#### 商登法の学習イメージ



登記法インプットの仕上げ講義

## ステップ1

### 択一・書式総合講義

#### 講座仕様

**回数** 全6回（全18時間）

**科目** 不動産登記法・商業登記法

**講師** 司法書士 井上 元先生

**構成** 講義 3時間

**教材** テキスト

#### CHAPTER 4 登記法インプットの仕上げ講義

不動産登記法と商業登記法の択一・書式用インプットの最終段階です。

本プログラムの中心に位置づけられる講義。書式を中心に学習をしながら、併せて択一对策をするための講義です。

これまでは書式 択一式の順で知識を詰めてきました。

井上講師のプログラムである「書式を見てから択一の知識で周りを埋めていく方式」が最も効率が良いからです。

したがって、これまでプログラムに沿って学んでこられた皆様は、このCHAPTER 4の段階に入る時点で、不動産登記法・商業登記法の知識がある程度身についた状態になっているはずですが、

しかし、書式については最初の段階で軽く触れたにとどまっています。書式は合計70点にもなる高配点問題なだけに、これだけでは不安になるでしょう。

#### 登記法インプットの仕上げ講義

そこで、最後に最も重要な書式に戻って、これまでに得られた知識を基に再度書式の論点に当たり、プログラム最終段階の演習に備えるのが本講義です。

ここで使用するテキストは、書式と択一知識をリンクさせる方式を採用しているため、登記法を立体的に理解することができるようになっており、本試験で問われるような総合問題に対処するための体系的知識を身につけることを目的としています。

また、書式の記載例の知識を増やすことも目的のひとつです。

# 午後の部対策編パック

## ステップ2

択一午後の部マイナー科目の必要最低限を講義&演習で切り抜ける  
過去問で総仕上げ

### 講座仕様

<b>回数</b>	全11回(全33時間)
	・講義 4回 12時間 (民保・民執・供託・司法書法)
	・演習 3回 9時間 (民訴・民保・民執・供託・司法書法)
	・午後の部過去問答練 4回 12時間
<b>科目</b>	午後の部の科目 (講義と演習とで科目が異なります。)
<b>講師</b>	司法書士 井上 元先生
<b>構成</b>	講義・演習
<b>教材</b>	レジュメ

### ステップ2

午後の部のマイナー科目は最低限度の講義&演習で切り抜ける

午後の部マイナー科目は合計で11問33点になります。そのなかで、民事訴訟法については5問出題されますが、司法試験受験生であれば自習で十分対応可能な科目です。

### 『講義』は知らない科目だけ

従って、講義では、民訴を除いた民事保全法・民事執行法・供託法・司法書士法を全4回で学習します。

### 択一演習 勉強済みの民訴も含めて

そして、既に勉強済みである民事訴訟法を含めた午後の部マイナー科目の演習を3回実施いたします。

### 過去問答練で総仕上げ

最後に4回、過去問答練で総仕上げを行います。

午後の部マイナー科目の学習イメージ

午後の部マイナーは  
全部で11問

民事訴訟法 5問  
司法試験で勉強済み

民事執行法 1問

民事保全法 1問

供託法 3問

司法書士法 1問

### 民保・民執・供託・書士法対策講座

<b>構成</b>	講義	<b>タイムテーブル</b>
<b>科目</b>	民事保全法・民事執行法・供託法・司法書士法	<b>講義 3時間</b>
<b>教材</b>	レジュメ	

初めて学習される分野であるとは思いますが、重要度は登記法より低くなっています。従って、ざっと全体を眺める講義を受けて、覚えるべき部分を学んでください。ここでは、全体を見ることのできるレジュメを使用して講義を進めます。

### 民訴・民保・民執・供託・書士法択一演習

<b>構成</b>	演習+解説	<b>タイムテーブル</b>
<b>科目</b>	民事訴訟法・民事保全法・民事執行法・供託法・司法書士法	<b>演習 2時間</b>
<b>教材</b>	問題 解説 (辰巳過去問セレクト)	<b>解説 1時間</b>

2時間30分の演習で問題を解き、解説を聞いていただけます。ここで実践に対応できているかをチェックいたします。

### 午後の部過去問答練(書式あり)

<b>構成</b>	演習+解説	<b>採点・添削</b> あり	<b>タイムテーブル</b>
<b>科目</b>	択一式・不動産登記法・商業登記法・民事訴訟法 民事保全法・民事執行法・供託法・司法書士法	<b>演習 2時間30分</b> = 択一式+書式	
<b>教材</b>	書式: 不動産登記 商業登記 問題 解説 (本試験過去問より)	<b>解説 1時間</b>	

ステップ2の最後に、総仕上げとして本試験過去問に挑戦していただきます。ここでは書式の問題を2問さらに追加いたしますので本番の形式にかなり近くなってきています。

添削は辰巳に答案が届いた日から10日後に返信いたします。  
最終提出締切は平成23年4月末日。

# 総合演習パック

総合演習

## ステップ3

# 書式実戦答練

### 講座仕様

<b>回数</b>	全8回(全16問)
	・不動産登記 8問 ・商業登記 8問
<b>科目</b>	不動産登記・商業登記
<b>講師</b>	司法書士 井上 元先生
<b>構成</b>	演習 90分+解説 60分
<b>教材</b>	レジュメ <b>添削</b> あり

答案返却は辰巳に答案が届いた日から  
10日後に郵送。  
最終提出締切は平成23年4月末日。

### CHAPTER 1

書式は1問あたりの配点が35点と高く、2問併せて70点満点になります。そのため、書式で高得点を稼ぎ出せば合格にも弾みがつきます。

とはいえ、本試験の書式の問題は複雑な総合問題となっているため、高得点を獲得するためには、本試験前にかかりの演習をこなしておく必要があります。

総合演習としては、司法書士オープン総合編、全国総合模試を用意していますが、それらに突入する前に、実際に書式を書く訓練を積んでおきましょう。これまでとは異なり、本試験レベルの書式をどんどん解くことにより、実戦力を磨きます。

### 実戦的なアドバイス

出題する問題は、辰巳が演習用に作成した問題ですから、予想問題としても使えます。解説講義においては、実戦での場面においてどう解答を導くべきなのかを随時指摘していきます。

# 司法書士オープン 総合編 2011年4月開講

通学部の設定あり

### 講座仕様

<b>回数</b>	総合編 8回
<b>科目</b>	全科目 <b>解説</b> 択一式あり 記述式あり
<b>構成</b>	演習 択一式及び記述式の全問、新作。かつ、記述式問題は海老澤毅先生作成のオリジナル問題。
<b>講師</b>	記述式解説担当 辰巳専任講師・司法書士 海老澤 毅先生 択一式解説担当 辰巳講師・司法書士 日吉 雅之先生
<b>教材</b>	問題冊子 解説冊子 <b>成績表</b> あり
<b>スキル</b>	なし <b>採点</b> あり <b>添削</b> あり

### CHAPTER 2

step up output

司法書士オープン【総合編】は、合格に必要な三要素である 知識、事務処理、論理的思考を、ステップアップ方式により、合格に必要なレベルにまで育成するシステムを採用しています。

本演習の一つ一つの積重ねが、2011合格へと結実します。

### 充実の解説講義!!

司法書士オープン【総合編】の解説講義は、択一と記述とで分かれています。なぜなら、解説講義が択一と記述で分かれていない場合、択一に時間がかかりすぎたために記述が不十分となった、記述に時間がかかりすぎたために択一が不十分となった、ということになりやすいためです。

択一と記述の解説講義は別々! だから 充実の解説講義!! なのです。

# 司法書士 全国総合模試 全2回 2011年5・6月開講

通学部の設定あり

### 講座仕様

<b>科目</b>	全科目
<b>解説</b>	・択一式あり・記述式あり
<b>講師</b>	記述式解説担当 辰巳専任講師・司法書士 海老澤 毅先生 択一式解説担当 辰巳講師・司法書士 日吉 雅之先生
<b>教材</b>	・問題冊子・解説冊子

### CHAPTER 3

本試験を完全にシミュレーションするために、本試験と同一水準の問題、本試験と同一の条件で、演習を実施します。

**午前の部** 現場での思考が必要となる基本的事項に関する問題を出題し、理解の程度を確認できるように致します。

**午後の部** (1) 択一式: 難易度の異なる問題を出題し、難易度の低い問題を取りこぼさず正解できる力の有無を確認できるように致します。

(2) 記述式: 基本的事項に関するものであるが事務処理量の多い問題を出題し、解答パターンの確立の有無を確認できるように致します。

以上のような問題に関する演習を本試験と同様の条件で行いますので、合格の確率が飛躍的に上昇します。